【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【公開番号】特開2016-135289(P2016-135289A)
【公開日】平成28年7月28日(2016.7.28)
【年通号数】公開・登録公報2016-045
【出願番号】特願2016-56321(P2016-56321)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成29年6月9日(2017.6.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技演出を行う複数の演出部を備えた遊技機であって、
前記複数の演出部のうちの少なくとも１つの演出部であって、一部が視認可能な第１態様と当該一部が当該第１態様に比べて視認困難な第２態様とに変更可能に構成された第１演出部と、
可動な第２演出部と、
を有し、
前記第１演出部は、前記第２演出部の作動によって前記第２態様から前記第１態様に変更可能であるとともに、前記第２演出部の作動に応じて前記一部における視認可能な部分の大きさが変更可能に構成されていること
を特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記第１演出部は、第１演出面を有し、当該第１演出面が前記第２演出部における第２演出面と共に演出を実行可能に構成されていること
を特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
［適用例１］
本発明の遊技機（１）は、遊技演出を行う複数の演出部（１５０，１７０）を備えた遊技機（１）であって、前記複数の演出部のうちの少なくとも１つの演出部であって、一部が視認可能な第１態様と当該一部が当該第１態様に比べて視認困難な第２態様とに変更可能に構成された第１演出部（１５１，３８０２，３８０９）と、可動な第２演出部（３８０３，３８０４，３８０５）と、を有し、前記第１演出部は、前記第２演出部の作動によって前記第２態様から前記第１態様に変更可能であるとともに、前記第２演出部の作動に

応じて前記一部における視認可能な部分の大きさが変更可能に構成されていることを要旨とする。
［適用例２］
適用例１の遊技機（１）であって、前記第１演出部は、第１演出面（３８０９，３８１０）を有し、当該第１演出面が前記第２演出部における第２演出面（３８０３，３８０４，３８０５）と共に演出を実行可能に構成されていることを要旨とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０４５３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０４５３】
１…遊技機（遊技機）
１５０…下部可動役物（演出部）
１５１…副液晶表示装置（第１演出部）
１７０…上部センタ役物（演出部）
３８０２…回転パネル部（第１演出部）
３８０３…左側パネル部（第２演出部，第２演出面）
３８０４…右側パネル部（第２演出部，第２演出面）
３８０５…下側パネル部（第２演出部，第２演出面）
３８０９…第１主面（第１演出部，第１演出面）
３８１０…第２主面（第１演出面）